


マンセンカラマツ	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>sibiricum</i> Regel et Tiling	情報不足
(環境省:絶滅危惧 I B類)		キンポウゲ科
選定理由	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧種に移行し得る要素を有しているが、生育状況等の情報が十分得られていない。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	茎は直立して高さ50-120cmになる多年草。上部でよく分枝する。茎葉は3-4回3出複葉で、小葉は長さ2-3cm。花期は7-9月。花序は複散房状で、白色または淡紫色を帯びた多数の花をつける。瘦果は10個以下、倒卵形で先は切形である。	
生態的特徴	山地帯の開けた草地に生える。	
分布状況	本州～九州、千島、樺太、中国(北部・東北)、シベリアに分布する。県内では県北の北東部(1966年)での標本が得られているが、その他の情報が不足している。	
減少要因	本種の分布域は情報不足のためはっきりしないが、もともと生育個体数も少ない。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良